

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

デーヴォ ガイド



2024.8.5-11

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

19:14 ヒゼキヤは、使者の手からその手紙を受け取って読み、【主】の宮に上って行き、それを【主】の前に広げた。

19:15 ヒゼキヤは【主】の前で祈った。「ケルビムの上に座しておられるイスラエルの神、【主】よ。ただ、あなただけが、地のすべての王国の神です。あなたが天と地を造られました。

19:16 【主】よ。御耳を傾けて聞いてください。【主】よ。御目を開いてご覧ください。生ける神をそしるために言うてよこしたセンナケリブのことは聞いてください。

19:17 【主】よ。アッシリアの王たちが、国々とその国土を廃墟としたのは事実です。

19:18 彼らはその神々を火に投げ込みました。それらが神ではなく、人の手のわざ、木や石にすぎなかったので、彼らはこれを滅ぼすことができたのです。

19:19 私たちの神、【主】よ。どうか今、私たちが彼の手から救ってください。そうすれば、地のすべての王国は、【主】よ、あなただけが神であることを知るでしょう。」

19:20 アモツの子イザヤはヒゼキヤのところへ人を送って言った。「イスラエルの神、【主】はこう言われる。『あなたがアッシリアの王センナケリブについて、わたしに祈ったことを、わたしは聞いた。』

19:21 【主】が彼について語られたことばは、このとおりである。『処女である娘シオンはおまえを蔑み、おまえを嘲る。娘エルサレムはおまえのうしろで頭を振る。

19:22 おまえはだれをそしり、だれをのしったのか。だれに向かって声をあげ、高慢

な目を上げたのか。イスラエルの聖なる者に対してだ。

19:23 おまえは使者たちを通して、主をそしって言った。「多くの戦車を率いて、私は山々の頂に、レバノンの奥深くへ上って行った。そのそびえる杉の木と美しいもみの木を切り倒し、その果ての高地、木の茂った園にまで入って行った。

19:24 私は井戸を掘って、他国の水を飲み、足の裏でエジプトのすべての川を干上がらせた」と。

19:25 おまえは聞かなかったのか。遠い昔に、わたしがそれをなし、大昔に、わたしがそれを計画し、今、それを果たしたことを。それで、おまえは城壁のある町々を荒らして廃墟の石くれの山としたのだ。

19:26 その住民は力失せ、打ちのめされて恥を見て、野の草や青菜、育つ前に干からびる屋根の草のようになった。

19:27 おまえが座るのも、出て行くのも、おまえが入るのも、わたしはよく知っている。わたしに向かっていきり立つのも。

19:28 おまえがわたしに向かっていきり立ち、おまえの安逸がわたしの耳に届いたので、わたしはおまえの鼻に鉤輪を、口にくつわをはめ、おまえを、もと来た道に引き戻す。』

神様による解決は、まず祈りの答えとしての神のことばが与えられます。それをもらうのも、またそれを信じて歩み出すのも信仰によります。ヒゼキヤも祈りをし、そして神のことばが与えられました。

その祈りは私たちにとって模範となるものです。まず「主の前に広げた。」とあるように、主に全

てを包み隠さず明かにしています。そして「あなたが天と地を造られました。」と、主の偉大な力を宣言し、賛美と信頼を表します。ですから「アッシリアの王たちが、国々とその国土を廃墟としたのは事実です。」と現状からも目をそらさない勇気が与えられます。そして「救ってください」と素直に主に願いますが、その目的は「血のすべての王国は…あなただけが神であることを知りましよう。」と、主の栄光のためです。

このような祈りをささげましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



6日 火曜

列王 II

19:29 あなたへのしるしは、このとおりである。『今年は、落ち穂から生えたものを食べ、二年目は、それから生えたものを食べ、三年目は、種を蒔いて刈り入れ、ぶどう畑を作ってその実を食べる。

19:30 ユダの家の上の逃れの者、残された者は下に根を張り、上に実を結ぶ。

19:31 エルサレムから残りの者が、シオンの山から、逃れの者が出て来るからである。万軍の【主】の熱心がこれを成し遂げる。』

19:32 それゆえ、アッシリアの王について、【主】はこう言われる。『彼はこの都に侵入しない。また、ここに矢を放たず、これに盾をもって迫らず、墨を築いてこれを攻めることもない。

19:33 彼は、もと来た道を引き返し、この都には入らない——【主】のことば——。

19:34 わたしはこの都を守って、これを救う。わたしのために、わたしのしもべダビデのために。』」

19:35 その夜、【主】の使いが出て行き、アッシリアの陣営で十八万五千人を打ち殺した。人々が翌朝早く起きて見ると、なんと、彼らはみな死体となっていた。

19:36 アッシリアの王センナケリブは陣をたたんで去り、帰ってニネベに住んだ。

19:37 彼が自分の神ニスロクの神殿で拝んでいたとき、その息子たち、アデラメレクとサルエツェルは、剣で彼を打ち殺した。彼らはアララテの地へ逃れ、彼の子エサル・ハドンが代わって王となった。

20 節から主の答えが続きます。そして突然に主のみわざが起きました。主のみことばがあってから



すぐであり、まるで当たり前のことが起きたかのように淡々と書かれています。

主のみわざは当たり前に起きるのです。あれほどの権力を誇り、ユダヤにも大きな脅威となっていたセンナケリブはいとも簡単に殺されて、王位が奪われてしまいました。彼は子に殺されたとありますから、日頃よりその素行や人間性は反感を呼ぶようなものであったのでしょう。または子どもが彼から善を学ぶことはないような人間性であったのでしょう。

神に敵対する力がどんなに強大であっても、それ実際はもろいものなのです。神の前にその悪が暴かれつつ滅びてゆきます。何よりも「主の使い」によって、いとも簡単に滅ぼされるてしまうのが、神の敵の運命です。

しかしそこに至るまでには、信仰者は忍耐し、試され、決断をしなくてはなりません。聖書から学びつつ、みことばと共に働かれる神様を体験しつつ、当たり前に勝利をお取りになる神様を、当たり前のように信頼してゆきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



7日 水曜

列王Ⅱ

20:1 そのころ、ヒゼキヤは病気になるまで死にかかっていた。そこへ、アモツの子、預言者イザヤが来て、彼に言った。「【主】はこう言われる。『あなたの家を整理せよ。あなたは死ぬ。治らない。』」

20:2 ヒゼキヤは顔を壁に向け、【主】に祈った。

20:3 「ああ、【主】よ、どうか思い出してください。私が真実と全き心をもって、あなたの御前に歩み、あなたの御目にかなうことを行ってきたことを。」ヒゼキヤは大声で泣いた。

20:4 イザヤがまだ中庭を出ないうちに、次のような【主】のことが彼にあった。

20:5 「引き返して、わたしの民の君主ヒゼキヤに告げよ。あなたの父ダビデの神、【主】はこう言われます。『わたしはあなたの祈りを聞いた。あなたの涙も見た。見よ、わたしはあなたを癒やす。あなたは三日目に【主】の宮に上る。』」

20:6 わたしは、あなたの寿命にもう十五年を加える。わたしはアッシリアの王の手からあなたとこの都を救い出し、わたしのために、わたしのしもべダビデのためにこの都を守る。』」

20:7 イザヤが「ひとかたまりの干しいちじくを持って来なさい」と命じたので、人々はそれを持って来て腫物に当たった。すると彼は治った。

20:8 ヒゼキヤはイザヤに言った。「【主】が私を癒やしてくださり、私が三日目に【主】の宮に上れるしるしは何ですか。」

20:9 イザヤは言った。「次のことが、あなた



への【主】からのしるしです。【主】は約束したことを成就されます。影が十度進むか、十度戻るかです。」

20:10 ヒゼキヤは答えた。「影が十度伸びるのは容易なことです。むしろ、影が十度後に戻るようにしてください。」

20:11 預言者イザヤが【主】に祈ると、主は、アハズの日時計に落ちた日時計の影を十度後に戻された。

アッシリヤを恐れないヒゼキヤでしたが、死に対しては弱さを隠せませんでした。「大声で泣いた」とあります。神様の答えが「アッシリヤの王の手から、…救い出し…」とありますから、彼は自分がなくなった後の王国の行く末を案じていたのかもしれませんが。また跡継ぎのマナセはこの後に生まれますから、後継者を案じていたのかも知れません。

私たちがこの世を去るときには、様々な備えが必要であり、主のあわれみとご計画をいただかなければならないことです。自分では寿命を決めることはできないのです。常に主に委ねつつ、主から与えられた時を大切にしてください。

主は日時計の影を戻すという超自然的な方法によって、ヒゼキヤに確信を与えられました。これは、地球の自転を戻したと理解してもよいですし、何か当時の人々には解明できない現象を用いたと理解してもよいでしょう。主のみわざは信じる者には分るが、信じなければ何も意味がないというような出来事の場合が多いようです。これは主の知恵であって、人間の心にある信仰の有無を明かにするためのなのでしょう。

自分の人生についての意味と、主のみわざをしっかりと見て、最期まで最善としていただけるように、日頃からみこころを聞いてゆきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



8日 木曜

列王Ⅱ

20:12 そのころ、バルアダンの子、バビロンの王メロダク・バルアダンは使者を遣わして、手紙と贈り物をヒゼキヤに届けた。ヒゼキヤが病気だったことを聞いていたからである。

20:13 ヒゼキヤは彼らを歓迎して、すべての宝庫、銀、金、香料、高価な油、武器庫、彼の宝物倉にあるすべての物を彼らに見せた。ヒゼキヤがその家の中、および国中で、彼らに見せなかった物は一つもなかった。

20:14 預言者イザヤはヒゼキヤ王のところに来て、彼に尋ねた。「あの人は何と申しましたか。どこから来たのですか。」ヒゼキヤは「遠い国、バビロンから来ました」と答えた。

20:15 イザヤは言った。「彼らはあなたの家を見てののですか。」ヒゼキヤは答えた。「私の家の中のすべての物を見ました。私の宝物倉の中で彼らに見せなかった物は一つもありません。」

20:16 イザヤはヒゼキヤに言った。「【主】のことは聞きなさい。

20:17 見よ。あなたの家にある物、あなたの父祖たちが今日まで蓄えてきた物がすべて、バビロンへ運び去られる日々が来る。何一つ残されることはない——【主】は言われる——。

20:18 また、あなたが生む、あなた自身の息子たちの中には、捕らえられてバビロンの王の宮殿で宦官となる者がいる。」

20:19 ヒゼキヤはイザヤに言った。「あなたが告げてくれた【主】のことはありがたい。」彼は、自分が生きている間は平和と安



定があるのではないか、と思ったのである。
20:20 ヒゼキヤについてのその他の事柄、彼のすべての功績、彼が貯水池と水道を造り、都に水を引いたこと、それは『ユダの王の歴史誌』に確かに記されている。
20:21 ヒゼキヤは先祖とともに眠りにつき、その子マナセが代わって王となった。

この記事は歴史誌の以下の部分に相当します。
「(32:25) とところが、ヒゼキヤは、自分に与えられた恵みにしたがって報いようせず、かえってその心を高ぶらせた。そこで、彼の上に、また、ユダとエルサレムの上に御怒りが下った。

(32:26) しかしヒゼキヤが、その心の高ぶりを捨ててへりくだり、彼およびエルサレムの住民もそうしたので、主の怒りは、ヒゼキヤの時代には彼らの上に臨まなかった。」

彼は自分の回復祝いに遠国から使者が来たことを喜び、自慢したくなったのでしょう。自分にあるものはすべて主のものなのに、「高ぶり」によって披露したのです。

主のものなのに自分で得たかのようにするのは、嘘であり、主を軽んじることです。私たちも気をつけなければなりません。

「自分が生きている間は、平和で安定があるのではないか」というのは、上の32:26に相当します。彼は自分さえよければ死後はどうでも良いと思ったのではなく、「心の高ぶりを捨ててへりくだり」、主がしばらくの間は平和と安全を与えてくださるといふ、あわれみに感謝したようです。(原文には「思った」とだけ記されていて、「からである」という表現はありません)

ヒゼキヤのように良い信仰で主に従っていれば祝福がありますが、それも主からのものであって自分の力ではないのですから、私たちはいつも謙遜に主の恵を証ししましょう。

①神のみこころは？(信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど)

②どんな思いになりましたか？(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか？(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか)

④この世にあって何を実践しますか？



9日 金曜

列王Ⅱ

21:1 マナセは十二歳で王となり、エルサレムで五十五年間、王であった。彼の母の名はヘフツイ・バハといった。

21:2 彼は、【主】がイスラエルの子らの前から追い払われた異邦の民の忌み嫌うべき慣わしをまねて、【主】の目に悪であることを行った。

21:3 彼は父ヒゼキヤが打ち壊した高き所を築き直し、イスラエルの王アハブがしたように、バアルのためにいくつもの祭壇を築き、アシェラ像を造り、天の万象を拜んでこれに仕えた。

21:4 こうして彼は、【主】がかつて「エルサレムにわたしの名を置く」と言われた【主】の宮に、いくつもの祭壇を築いた。

21:5 【主】の宮の二つの庭には、天の万象のために祭壇を築いた。

21:6 また、自分の子どもに火の中を通らせ、卜占をし、まじないをし、霊媒や口寄せをし、【主】の目に悪であることを行って、いつも主の怒りを引き起こしていた。

21:7 彼はまた、自分が造ったアシェラの彫像を宮に安置した。【主】はかつてこの宮について、ダビデとその子ソロモンに言われた。「わたしは、この宮に、そしてわたしがイスラエルの全部族の中から選んだエルサレムに、わたしの名をとこしえに置く。

21:8 もし彼らが、わたしの命じたすべてのこと、わたしのしもべモーセが彼らに命じたすべての律法を守り行いさえするなら、わたしはもう二度と、彼らの先祖たちに与えた地からイスラエルの足を迷い出させない。」

21:9 しかし、彼らはこれに聞き従わなかった。



マナセは彼らを迷わせて、【主】がイスラエルの子らの前で根絶やしにされた異邦の民よりも、さらに悪いことを行わせた。

父ヒゼキヤが良い王であったにも関わらず、マナセは悪を行いました。信仰に関しては親の影響は大きいのですが、最期は本人の決断です。親がクリスチャンだから、その子どもも自動的に救われるというものではありません。「主イエスを信じなさい。そうすればあなたも、あなたの家族も救われます」というパウロのことは、個人的な励ましとして受け取ることはできますが、普遍的な原理ではないのです。

マナセの行いについて、「イスラエルの王アハブがしたように」とあります。不信仰にもやはりパターンがあるようです。悪い不信仰な行いからも、反面教師として学ぶことができます。自分自身がそのパターンを持っていないかどうか、考えてみましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



10日 土曜

列王Ⅱ

21:10 【主】は、そのしもべである預言者たちによって、次のように告げられた。

21:11 「ユダの王マナセは、これらの忌み嫌うべきことを行い、実に彼以前にいたアモリ人が行ったすべてのことよりもさらに悪いことを行い、その偶像でユダにまで罪を犯させた。

21:12 それゆえ、イスラエルの神、【主】はこう言われる。見よ、わたしはエルサレムとユダにわざわいをもたらす。だれでもそれを聞く者は、両耳が鳴る。

21:13 わたしは、サマリアに使った測り縄と、アハブの家に使った重りをエルサレムの上に伸ばし、人が皿をぬぐい、それをぬぐって伏せるように、わたしはエルサレムをぬぐい去る。

21:14 わたしは、わたしのゆずりの民の残りの者を捨て去り、彼らを敵の手に渡す。彼らはそのすべての敵の餌食となって奪い取られる。

21:15 それは、彼らの先祖たちがエジプトを出た日から今日まで、わたしの目に悪であることを行って、わたしの怒りを引き起こしたからである。」

21:16 マナセは、ユダに罪を犯させて、【主】の目に悪であることを行かせた罪だけでなく、咎のない者の血まで多量に流したが、それはエルサレムの隅々に満ちるほどであった。

21:17 マナセについてのその他の事柄、彼が行ったすべてのこと、彼が犯した罪、それは『ユダの王の歴代誌』に確かに記されている。

21:18 マナセは先祖とともに眠りにつき、そ



の家の園、ウザの園に葬られた。彼の子アモンが代わって王となった。

21:19 アモンは二十二歳で王となり、エルサレムで二年間、王であった。彼の母の名はメシュレメテといい、ヨテバ出身のハルツの娘であった。

21:20 彼はその父マナセが行ったように、【主】の目に悪であることを行った。

21:21 彼は父の歩んだすべての道に歩み、父が仕えた偶像に仕え、それらをつき、

21:22 彼の父祖の神、【主】を捨てて、【主】の道に歩もうとはしなかった。

21:23 アモンの家来たちは彼に謀反を起こし、その宮殿の中で王を殺した。

21:24 しかし、民衆はアモン王に謀反を起こした者をみな打ち殺した。民衆はアモンの子ヨシヤを代わりに王とした。

21:25 アモンが行ったその他の事柄、それは『ユダの王の歴代誌』に確かに記されている。

21:26 人々は彼をウザの園にある彼の墓に葬った。彼の子ヨシヤが代わって王となった。

主はマナセに対して、「わざわいをもたらす」と、さばきの宣言をなさいました。主は悪を見過ごしになさる方ではありません。悪いことをしたと気づいたら、早く悔いて改めましょう。弱さを認めて、主にあわれみを求めましょう。

歴代誌を見ると、マナセは後に苦難の中で悔い改めてことが記されています。もしも苦しみに会う前に気づくなら幸いです。また苦しみに会うとき、自分を省みて、主のみこころを求めることも大切です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？





22:1 ヨシヤは八歳で王となり、エルサレムで三十一年間、王であった。彼の母の名はエディダといい、ボツカテ出身のアダヤの娘であった。

22:2 彼は【主】の目にかなうことを行い、父祖ダビデのすべての道に歩み、右にも左にもそれなかった。

22:3 ヨシヤ王の第十八年に、王は、メシュラムの子アツアルヤの子である書記シャファンを【主】の宮に遣わして言った。

22:4 「大祭司ヒルキヤのもとに上って行き、【主】の宮に納められていた金、すなわち、入り口を守る者たちが民から集めたものを彼に計算させよ。

22:5 彼らが【主】の宮で工事をしている監督者たちにそれを手渡すようにせよ。そして、監督者たちは、神殿の破損の修理をするために、【主】の宮で工事をしている者たちにそれを渡すようにせよ。

22:6 大工、建築する者、石工に渡し、神殿の修理のための木材や切り石を買わせよ。

22:7 ただし、彼らの手に渡した金の精算がなされる必要はない。彼らは忠実に働いているからである。」

22:8 そのとき、大祭司ヒルキヤは書記シャファンに、「【主】の宮で律法の書を見つけました」と言った。そしてヒルキヤがその書をシャファンに渡したので、彼はそれを読んだ。

22:9 書記シャファンは王のもとに行って、王に報告した。「しもべたちは、神殿にあった金を取り出して、これを【主】の宮で工事している監督者たちの手に渡しました。」

22:10 さらに書記シャファンは王に告げた。「祭司ヒルキヤが私に一つの書物を渡してくれました。」シャファンは王の前でそれを読み上げた。

22:11 王は律法の書のことばを聞いたとき、自分の衣を引き裂いた。

ヨシヤは宮で発見された律法の書により、国の宗教改革を実現しました。それらは先ず、宮の修復工事から始まったことは意味があります。

宮とは神様と出会う場所です。人は常に良い日常生活と人生を送るよう努めるものですが、それらは何よりも神様との関係の修復から始まるのです。より良い生き方を願うなら先ず、神様との関係修復から始めましょう。

「王は律法の書のことばを聞いたとき、自分の衣を裂いた。」とあります。これは、危機感とショックの表れです。ユダヤの国のこれまでと現状がいかに神様のみこころから反しているかを、あらためて認識し、そのような反応をしたのです。

主のみこころを聞き、自分が従っていないことを示されたとき、私たちはどうでしょうか。何を聞いても無反応な人もいますが、私たちは真剣に受け止めたいと切に思います。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

